

# 今後の取組

## (1) 学校における取組

今回の調査結果を受け、市内の各小・中学校では児童生徒の実態に応じて、次の取組を進めていきます。

※各校が、今回の調査結果を分析し、今後の学校における取組を検討しました。こちらに掲載したものは、各校の報告に多く取り上げられていたもの、また、共通の要素があるものです。したがって、全ての学校が以下に示す全ての取組を行うものではありません。各学校が、児童生徒の実態に応じて、学力向上や規則正しい生活習慣確立のために、最も適切であると考える取組を行います。

### その①基礎・基本の定着と応用力の獲得

～繰り返し学習の徹底・ふりかえり学習の充実～

- プリント学習・ドリル学習等の継続。(スキルタイムの活用)
- 活用問題や補充問題(教科書以外)を取り上げ、すべての子供たちの学力を向上。
- 読書活動の充実。→「読む力」の育成。
- 復習を中心とした宿題課題を提示。→宿題の点検を徹底。
- つまづいている児童・生徒への補習授業を実施。

### その②すべては授業から! 授業力の向上

～教師の意識改革と授業改善に向けた意思統一～

- 全職員が自校の児童生徒の成果と課題を共通認識の実践。
- 「チーム学校」で学力向上をめざし、同一歩調で指導。
- 学年や学校全体で統一した授業の進め方・約束事を設定。

～「東松山学習のスタンダード」の活用～

(別添資料参照・平成26年5月に各学校に配付、令和4年度改訂)

- ねらいを明確にした授業の導入、ねらいに整合したまとめ。
- 児童生徒が「自分の言葉でふりかえる」指導の充実。
- 児童生徒の「必要感」を喚起する導入の工夫と意欲を高める課題の設定。
- 計画的な思考を深める板書を具現化。
  - ・1時間単位の学習の流れや思考の流れがひと目で分かる板書
  - ・学習のねらいや、課題解決のためのキーワードが示された板書
- 自主学習を学年の実態に応じた自立学習の導入。



～指導方法、学習形態等の工夫～

- T.T. (ティームティーチング)、少人数指導の充実。
- 主体的・対話的で深い学びにつながる協働学習の充実。
- 個に応じた指導のさらなる充実。
- 習熟度に応じた授業を児童生徒の実態に応じて実施。



～ICT 機器の積極的な活用～

- 写真、動画などを使い、視覚に訴える工夫。
- ICT 教材のライブラリー化による教材の共有化。
- ICT 機器の授業での活用 (タブレット活用を含む) に関する校内研修の充実。

～学力のさらなる向上のために～

- 教室掲示の充実。「子供たちが安心して学べる環境づくり」の活用。
- ノート指導の充実。→ よいノートを掲示する。
- 学校図書館の積極的な活用。
- 国語辞典の積極的な活用。



**その③主体的、対話的で深い学びにつながる力の育成**

～今、求められる力の育成のために～

- 「こんな取組が東松山の子供たちを伸ばしています」の活用。
- 「こんな授業が学力を伸ばしています」の活用。
- 自分の考えを表現し、友達と意見を交わし合う機会を意図的に、適時設定。
- 授業の「ねらい」「めあて」と「指導内容」及び「評価」を一体化。児童生徒がその授業でどんなことを学習し、どんな力をつけるのかを明確化。
- 朝会や朝のスピーチ等で聞き取ったことを文章化し、他の人の意見を聞き、主語を意識して自分の意見を考える活動を多く設定。
- 今日学習したことを「自分の言葉でまとめる活動」を継続。

**その④課題克服のために! 「書く力」の育成**

～小・中の共通的な課題克服のために～

- 授業で「書く活動」を必ず設定。 ○日記等の取り組み。
- 題材や段落等の「条件や制限」の中で書く練習の充実。
- 個々の実態に応じた、「書き方の約束」を粘り強く指導。
- 児童生徒が「書くことをあきらめない」指導。
- 『書くことの基本は読むこと』に基づいた、読書量を増やす指導。
- 短作文作りと漢字学習・熟語の学習等との連動を図る。



## (2) 家庭における取組

今回の調査で、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いていることや、宿題に継続的に取り組むこと、また、家族との会話が深いこと等の要素は、「学力に好影響を及ぼす」という一定の傾向を読み取ることができました。

児童生徒の学力の定着には、日頃の生活習慣や生活態度も大きく影響します。子育てに関連する言葉に「家庭でしつけ」「学校で教え」「地域で育て、実を結ぶ」という言葉があります。そこで、家庭においても、以下のような取組をお願いします。

### その①基本的な生活習慣の定着

～合言葉は「早寝・早起き・朝ごはん」～

- 規則正しい食事をとりましょう。特に朝食を。
- 毎朝決まった時間に起きる習慣を。
- 夜更かしせず、決まった時刻に就寝を。
- ゲームやテレビ、インターネット、スマホや携帯電話の使用に関する約束を決め、「やりすぎ」ないように。⇒毎月第2、第4水曜日は「ノーゲームデー」
- まとまった睡眠時間の確保を。
- 自分の身の周りのことは自分でするという習慣の定着を。



### その②望ましい生活態度の定着

～合言葉は「あいさつ・返事・靴そろえ」～

#### あいさつは社会生活の要です！！

- 日ごろから家族同士であいさつを交わす生活を。
- あいさつは「保護者自ら」範を示して。
- 近所、地域の方にあいさつする大切さを伝えましょう。
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をするという習慣づけを。
- 玄関の靴そろえやスリッパなどをそろえる習慣づけを。



### その③家庭学習の充実

～合言葉は「宿題・手伝い・明日の準備」～

- 帰宅したら「まず宿題をする」習慣の徹底を。
- 宿題を「ていねいにする」指導を。
- テレビを観ながらの「ながら勉強」はおすすめしません。音楽を聴く場合は、リラックスできる音楽や集中力を高める音楽を選びましょう。
- 小学生は、まず、復習を中心とした学習を。
- 中学生は、復習とともに、予習もできるように。
- 子供のがんばりや努力を大いにほめましょう。
- 「教え上手」ではなく「学ばせ上手」に。
- はじめは短い時間から。継続して取り組むことができるように、「集中できる環境」と「励ましの言葉」を。



東松山版「家庭学習のすすめ」(別添資料参照)を作成、配付しました。  
家庭学習のバイブルとしてご活用ください。

### その④地域との関わりの充実

～家庭でしつけられ、学校で学び、地域で育つ～

- 地域の行事に積極的に参加するようお声がけをお願いします。
- 近所の方とのふれあいを「親子、共に」日ごろから大切にしましょう。
- 地域の歴史や自然、文化に触れる機会を増やして、様々な感動体験ができるよう、支援をお願いします。



## (3) 教育委員会における取組

東松山市教育委員会では、今回の調査結果と、これまで行われてきた調査結果を関連させて、多面的な視点で考察を行い、児童生徒の学力向上に取り組みます。また、学校における学習習慣・生活習慣の望ましい改善に向け、具体的な取組を推進してまいります。

### その①学校指導訪問の充実

～教師の指導力の向上が児童生徒の学力向上につながります～

- 教育委員会が各学校を計画的に訪問し、各学級の授業を参観します。
- この「訪問」の機会を、教師の指導力向上の中核としてとらえ、具体的な指導・助言を行います。
- その際、『東松山の学習スタンダード(平成26年5月作成、令和4年度改訂)』や東松山版「わかる授業づくり」のポイント、ICTチェックリスト等を活用して指導を行い、『東松山市の指導のスタンダード』の確立を目指します。

### その②全国学力調査の問題の活用

～児童生徒の弱みを把握することが、弱点克服の第一歩です～

- 児童生徒が、どのような問題でつまづいているのかを教員が把握し、日々の授業の中で生かしていくように指導・助言を行います。
- 教員自らが調査問題に取り組み、日々の授業展開の活用を図ります。(復習シートの活用)



### その③児童生徒を伸ばした取組を紹介します

～様々な観点から、児童生徒を伸ばす取組を分析します～

- 教科指導、学級経営、家庭との連携、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の観点から、児童生徒を伸ばす取組を分析します。
- 指導主事が授業参観をし、学力向上のヒントをまとめたものを市内の小中学校に共有します。



### その④5大バイブルの積極的な活用の推進

～5つの独自資料の内容を各校・家庭に浸透させます～

- 「東松山の学習指導スタンダード改訂版」で、教師の指導力の向上を図ります。
- 「東松山版 家庭学習のすすめ」で、さらなる学力の向上を目指します。
- 「東松山の子どもたちはこれができます」で生活習慣・学習習慣の定着を図ります。
- 「東松山市道徳科スタンダード」で、道徳教育の充実を図ります。
- 「東松山の学級経営スタンダード年間版」で、学級経営の充実を図ります。